

## 継続の難しさ！さて、あなたは？



～2月の全校朝会より～

むかしむかし、インドの山奥のとて雪深いところに、寒苦鳥（かんくちょう）という鳥が住んでいました。この鳥は、とても怠けものの鳥でした。なぜかという、どんなに雪が降って寒くても、自分の巣を作らないのです。

昼間は太陽が出てとても暖かくなるので、歌を歌ったり遊び回ったりして、全く巣を作しません。夜になると、他の鳥たちは自分の巣に帰り暖かくして夜を過ごしますが、寒苦鳥には巣がありません。木の枝に掴まり、「あー寒い。明日こそは怠けないで絶対に巣を作ろう」と涙を流しながら決心します。

ところが、次の日になると、太陽の暖かさに、前の日の寒さのことなどすっかり忘れて、いつものように遊び回ります。そして再び夜になると、また、「明日こそは、巣を作ろう！」と決心するのです。ですが、同じように朝になると暖かさでまた忘れてしまいます。毎日毎日同じことを繰り返して、寒苦鳥は、ついに巣を作ることなく、むなしく一生を終えてしまうのです。いつも「明日はやろう、明日はやろう」と思い、反省するのですが、行動に移せない鳥、それが寒苦鳥です。

ここまで聞いて、自分に似ているなあと思った人はいませんか？どんな人の心の中にも「寒苦鳥のような怠ける心」はあります。しかし、それに打ち勝って、決めたことはしっかり続けるようにしなければ成長はありません。



実は、そのことができる人が、「天才」ではないかと思えます。

これからの、みんなのがんばりを見守るのがとても楽しみです。「寒苦鳥」のようにならないですよ！（\*^o^\*）

## 代表委員会

今日は18日。卒業式まで、ちょうど1ヶ月になりました。これまで学校のリーダーとして西部小を引っ張ってくれた素敵な6年生を清々しく送り出すため、次のような準備を行っています。

① 代表委員会で「6年生を送る会」について話し合う（ステージ練習は25日から）

② 職員会議で、式の中身、呼びかけの言葉の内容を話し合う（練習は3月5日から） などなど

今日は、代表委員会について触れてみましょう。代表委員会とは、各学年の代表と各委員会の代表が集まり、様々な議題について話し合う機関です。子供達にとっての、最高決議機関と言うわけです。

今回は、「お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えるための集会にしよう」という議題で話し合いが行われました。

話し合いの柱は2つ。（以下の通り）

柱1：集会に必要な事と盛り上げる工夫を考えよう

柱2：役割分担

話し合いの結果、次のような事が決まりました。

柱1について決まったことは、

- ・各学年の出し物
- ・6年生の写真を流す
- ・プレゼントをつくり渡す などなど

柱2について決まったこと

- ・飾り付けの作成は1、2年生で
- ・アーチは3年生で
- ・歌は、放送委員会が

担当する などなど

様々なことを職員力を借りながらも、自分達の手で成し遂げる。そんな力も身に付けている西部小の子供達です。



～ちょっと一言～

某TV番組で、電気や水道のない生活での苦労話があっていました。それを観ながらふと思ったのが、18世紀の思想家ルソーの言葉。ルソーは、その著書『エミール』の中でこう書いています。

「子供をダメにするのは簡単だ。欲しがるものを際限なく与えればよい」と。

今も昔も変わる事のない真理です。モノが溢れ、何不自由なく生活できる現代だからこそ、立ち止まり振り返って見る必要があるようです。我慢強さやモノを大事にする心を育てるためにも！

